

企画県土警察常任委員会資料

(平成23年9月16日)

- 1 第9回とリアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催について
【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 倉吉未来中心売店の経営者の決定について
【文化政策課】 . . . 3ページ
- 3 第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について
【交流推進課】 . . . 4ページ
- 4 ロシア沿海地方との友好交流20周年記念行事について
【交流推進課】 . . . 7ページ
- 5 バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて
【交流推進課】 . . . 11ページ
- 6 山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催について
【観光政策課】 . . . 12ページ
- 7 平成23年台風12号被害に対する予備費の充当について
【観光政策課】 . . . 13ページ
- 8 山陰海岸ジオパーク110kmウォークの開催について
【観光政策課】 . . . 14ページ

文化観光局

第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催について

平成23年9月16日
文化政策課

9月1日（木）から12月31日（土）までの4ヶ月、第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）を開催し、県内各地において様々な文化芸術の催しを実施します。

1 目 的

鳥取県総合芸術文化祭は、平成14年度に開催した「国民文化祭とっとり」の成果を継承発展させるべく翌平成15年度から開催し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として、実行委員会方式で実施している。

2 期 間 平成23年9月1日（土）～12月31日（土）

3 主 催 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県、鳥取県教育委員会、
財団法人鳥取県文化振興財団、鳥取県文化団体連合会

4 事業の主な内容

(1) 実行委員会が主催する事業

事業名	日程・会場	内 容
【メイン事業】 「八賢伝」 (はちけんでん)	◆10月16日（日） 倉吉未来中心 大ホール	文化に携わる人材の育成と鑑賞者の拡大のために、県内の文化資源を題材とし、地域の人材を活用して創造した、質の高い作品を提供するもの。 今年度は、倉吉に今なお残る里見伝説を音楽と演劇で描く感動的な舞台公演「八賢伝（はちけんでん）」を実施。
【企画公募委託事業】 キラリ☆アートプロジェクト	①10/29(土)～11/13(日) とりぎん文化会館、鳥取市街地 他 ②11/19(土)、20(日) 日野町文化センター ホール森の音楽隊	社会と芸術をつなぐ人材であるアートマネージャーの育成を目的として、県民から企画を公募。 ①ジャズ・フェスティバル「鳥取JAZZ」 (鳥取JAZZ実行委員会) ②ミュージカル「きらりこの町～遠いむかしむかし僕たちの町おこし～」 (日野町民ミュージカル実行委員会)
【企画公募事業】 ワークショップ・オープンスペースイベント参加体験型事業	◆中部 10/15～10/16 倉吉未来中心 ◆西部 10/22～10/23 米子コンパニオンセンター他 ◆東部 11/12～11/13 とりぎん文化会館	県民の方々に気軽に参加、体験していただき、文化芸術への関心と理解を深めていただくことを目的とする事業。 地区ごとに事業の目的やテーマを決め、それに基づいた企画を公募し実施。

(2) 実行委員会事業以外の主催事業

事業名	日程
第55回鳥取県美術展覧会	9/23(金・祝)～11/23(水・祝) 県立博物館ほか ※詳細は<参考>のとおり

ほかに、鳥取県文化団体連合会に加入している団体が行う14事業が実施される。

(3) 参加事業(147事業)

※ 鳥取県総合芸術文化祭の開催期間中に実施される上記(1)、(2)以外の事業が、県内各地で実施される。

例)「米子市秋の文化祭」、「鳥取市民文化祭参加行事」、「第10回倉吉天女音楽祭」ほか

5 オープニングイベント

(1) 日時 9月18日(日) 午後1時30分から

(2) 場所 倉吉未来中心 アトリウム

(3) 内容 実行委員会主催事業出演者によるステージパフォーマンス、展示
(JAZZ演奏、合唱、メイン事業「八賢伝」PR、絵画展示 等)

<参考>

第55回鳥取県美術展覧会

1 会場及び会期(いずれの会場とも会期中無休、入場無料)

地区	会場	会期
鳥取会場	鳥取県立博物館	9月23日(金・祝)～10月2日(日)
米子会場	米子市美術館	10月8日(土)～10月17日(月)
日南会場 (選抜展)	日南町美術館	10月22日(土)～10月31日(月)
倉吉会場	倉吉博物館・ 倉吉歴史民俗博物館	前期(洋画・版画・彫刻・写真) 11月7日(月)～11月13日(日) 後期(日本画・書道・工芸・彫刻・デザイン) 11月17日(木)～11月23日(水・祝)

※ 日南町美術館の選抜展は受賞作品と日野郡内の入選作品等を展示。

2 表彰式

(1) 日時 9月23日(金・祝) 午前10時から

(2) 場所 鳥取県立博物館 玄関ホール

(3) 内容 ・表彰式
・受賞作品講評、ギャラリートーク

倉吉未来中心売店の経営者の決定について

平成23年9月16日
文化政策課

倉吉未来中心(指定管理者:(財)鳥取県文化振興財団)内のレストラン及び売店の経営者が、平成23年5月31日をもって営業を終了したことに伴い、新たな経営者を公募型プロポーザル方式で選定することとして指定管理者が公募したところ、売店については、1者から応募があり、審査会等で検討の上、同応募者を新たな経営者に決定しました。

なお、応募者がなかったレストランについては、今後、レストラン以外での活用も視野に入れて、指定管理者等と検討を行っていく予定です。

1 応募の状況

(1) 売店

① 募集期間

平成23年7月7日～同月28日

② 応募者

1者

③ 応募者の概要及び提案内容

応募者	株式会社石谷精華堂 (代表取締役 石谷 幸子)
使用料	売上額の1割
店舗名	石谷精華堂 倉吉未来中心店
営業時間	午前10時～午後5時
売店の概要	自社製品をはじめ、中部地区の特産品等(食品、工芸品等)を販売。

(2) レストラン

① 募集期間

平成23年7月7日～同月28日

② 応募者

なし

2 売店経営者の決定

審査会において提案内容を審査した結果、株式会社石谷精華堂(代表取締役 石谷 幸子)を売店経営者に決定。

3 契約期間(予定)

契約締結日から平成26年3月31日(現指定管理期間満了)まで

4 営業開始予定日

平成23年10月1日

第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について

平成 23 年 9 月 16 日
交 流 推 進 課
通 商 物 流 室

9月5日(月)に中国吉林省で開催された第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット及び各地域との会談等の概要は以下のとおりです。なお、平井知事は台風12号の対策本部対応で出張日程を変更したため、サミット本会議には文化観光局長が代理出席しました。

1 サミット本会議の概要

- (1) 日 時 9月5日(月) 午前8時30分～午前11時55分
- (2) 場 所 南湖賓館(吉林省長春市)
- (3) 参加者 鳥取県 細羽正(ほそばただし)文化観光局長 ※知事代理として出席
吉林省 王儒林(ワン・ルウリン) 省長
沿海地方 ダリキン・セルゲイ知事
中央県 ツェデブドルジ・エンフバト知事
江原道 崔文洵(チェ・ムンスン)知事 ほか

(4) 結果(共同宣言は別紙のとおり)

- 各地域の代表は、これまでの各地方政府間の相互協力及び友好関係を評価した上で、各地域が協調し、北東アジア地域の交通網構築、エネルギー開発利用等を推進していくことで一致。
- また、2012年に本県で開催される「国際マンガサミット」等、各地域で開催される国際行事を相互に支持し、各行事の実効を上げていくことを確認した。
- 本県は、東日本大震災に対する各国、各地域からの支援に対して御礼と深い感謝の意を表明し、鳥取県の被災地支援の取組を紹介した。また、震災後、世界に広まった風評により訪日観光客が激減したことに関連し、地域間の情報共有と経済・観光交流の強化を呼びかけた。
- また、日本の「北東アジアゲートウェイ」として交通基盤整備を進める本県の取組を紹介し、特に、環日本海定期貨客船を利用した青少年交流事業やトライアル輸送事業への各地域の協力を求め、航路を活用した人的・物的交流の拡大を図った。
- 次回地方政府サミットの開催地域が鳥取県に決定した。

2 各会談等の概要 ※すべて平井知事が対応

(1) 二地域間会談

- 平井知事は各首長に対し、環日本海定期貨客船航路の利用促進に向けた協力を要請し、各首長の賛同を得た。また、北東アジア地域が世界に向けて魅力的な観光地となるよう観光分野の交流を進めることを確認するとともに、東日本大震災の風評被害を伝え、本県観光の安全性を訴えた。
- 特に、崔文洵(チェ・ムンスン)知事との初対面の機会となった江原道との二地域間会談では、平井知事が崔知事の当選と2018年冬季オリンピックの平昌開催決定に対する祝意を伝え、8月に江原道を襲った集中豪雨への見舞金を贈呈した。崔知事は「鳥取県と江原道の地域間交流は他地域の模範と聞いている。先達が相互に尊重しあい築いてきた交流を大切にしたい。」と交流の推進に意欲を示し、近いうちに鳥取を訪れることを約束した。

(2) その他の会談

- 孫政才(スン・ジョンツァイ) 中国共産党吉林省委員会書記と会談し、環日本海定期貨客船航路を活用した両地域間の経済交流を促進することで一致した。
- 王勝今(ワン・シジョン) 吉林大学副校長と会談した際、王副校長から「鳥取環境大学と吉林大学との学術交流協定締結を検討したい」との意向が伝えられた。
- 李龍熙(リー・ロンシー) 延辺朝鮮族自治州長と会談した際、李州長から「鳥取市との友好交流を進めたいので、鳥取市長に当方の意向を伝えていただきたい」との依頼を受けた。

3 知事日程

月 日	日 程
9月5日(月)	9:40～10:55 仁川空港→長春空港 12:00～12:20 中国共産党吉林省委員会書記との会談【南湖賓館】 12:30～13:20 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットレセプション【南湖賓館】 13:20～13:40 沿海地方知事との会談【南湖賓館】 14:00～15:00 美術作品展示会開幕式【長春北東アジア芸術センター】 16:30～17:00 江原道知事との会談【南湖賓館】 17:00～17:30 中央県知事との会談【南湖賓館】 18:00～19:20 北東アジア投資貿易博覧会歓迎レセプション【南湖賓館】 22:30～23:00 吉林省長との会談【南湖賓館】
9月6日(火)	9:00～10:00 北東アジア投資貿易博覧会開幕式【長春国際会議展示センター】 10:00～11:00 北東アジア投資貿易博覧会視察【長春国際会議展示センター】 12:00～13:30 吉林大学副学長との昼食会【長白山賓館】 14:00～14:30 延辺朝鮮族自治州長との会談【拉図摩根商旅酒店】 15:30～16:00 吉林省旅遊局長との会談【中日友好会館】 18:00～19:30 瀋陽総領事及び鳥取県出展企業との夕食会【圓餃園】
9月7日(水)	8:50～11:40 長春空港→仁川空港 ※知事は引き続きウラジオストクへ出張し、9月9日に帰国

第 16 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同宣言文

2011年9月5日、中国吉林省において開催された「第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、中華人民共和国吉林省長 王儒林、日本国鳥取県知事 平井伸治、ロシア連邦沿海地方知事 ダリキン・セルゲイ、モンゴル中央県知事 ツェデブドルジ・エンフバト、大韓民国江原道知事 崔文洵は、これまでの各地方政府間の相互協力及び友好関係に基づき、地域の共同繁栄のため幅広い意見を交換し、次の事項に合意した。

1. 各地方政府は協力して北東アジア地域の輸送ルート建設を促進する。現在の輸送ルートが抱える人と物の流れの不足、複雑な手続、円滑に進まない通関等の問題を協力して解決し、短期間に輸送ネットワークを形成する。また、吉林省琿春～沿海地方ザルビノ～江原道東草航路、鳥取県境港～江原道東海～沿海地方ウラジオストク航路等の既存国際航路の安定運航に向け、各地域は航路を利用した交流協力事業を積極的に企画し、協力して実施する。
2. 相互補完と相互利益、地域全体の利益優先の原則のもと、各地方政府は北東アジア地域の資源、エネルギーの協力関係を強化し、合理的かつ有効に資源及びエネルギーを開発利用し、地域経済の発展を図ると同時に環境保護に努める。
3. 地域間協力のプラットフォームを構築し、北東アジア地域の共同発展を促進する。各地方政府は吉林省における北東アジア投資貿易博覧会、江原道における GTI 会議、中央県における投資貿易商談会、沿海地方における太平洋経済会議、鳥取県における国際マンガサミット及び山陰海岸世界ジオパーク活動等の国際的な活動を積極的に支持し協調する。資源統合、情報共有、相互協力により、各活動の実効性を最大限に発揮させ、地域間交流協力のプラットフォームを共同で構築する。
4. 各地方政府は北東アジア地域の開発協力促進のため、GTI が推進する地方政府協力委員会創設に積極的に参画する。
5. 各地方政府は管内市町村、企業、民間組織とともに、経済、環境、観光、ハイテク分野等の交流拡大を積極的に支持推進する。
6. 各地方政府は協議と相互理解を強化し、地域内の物流・観光産業の発展を促進する。東日本大震災後に経済・観光面で風評被害が広がったが、災害や風評被害を克服し、各地方政府は情報共有と経済・観光交流を強化する。
7. 第 17 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットは、日本国鳥取県で開催する。

この宣言文は、中国語、日本語、ロシア語、モンゴル語、韓国語でそれぞれ作成する。各言語版は同一の効力を持ち、各地方政府が各 1 部を保管する。

中華人民共和国吉林省長

日本国鳥取県知事代理 文化観光局長

ロシア連邦沿海地方知事

モンゴル中央県知事

大韓民国江原道知事

王 儒林

細羽 正

ダリキン・セルゲイ

ツェデブドルジ・エンフバト

崔 文洵

ロシア沿海地方との友好交流20周年記念行事について

平成23年9月16日

交流推進課

本年は、鳥取県と沿海地方が1991年10月に「友好交流に関する覚書」に調印してから20周年、また、2010年5月に「友好交流及び協力に関する協定」を締結してから1周年という節目の年であり、これを記念して以下のとおり記念行事を鳥取県及び沿海地方において実施した。

1 鳥取県における行事

(1) 友好交流20周年記念式典及び「沿海地方文化デイズ」開会式

ア 日時 平成23年9月1日(木) 13時～14時20分

イ 場所 鳥取県立博物館

ウ 出席者 平井伸治鳥取県知事、シャライ・ビクトル沿海地方国立博物館長 ほか

エ 概要等

- ・県立博物館前庭にて、友好交流20周年記念式典を開催し記念植樹を実施した
- ・沿海地方の文化・歴史・自然や本県との交流の歩みを紹介する「沿海地方文化デイズ」の開会式を県立博物館入口にて開催した

【沿海地方文化デイズの概要】

- ・9月1日(木)～9月8日(木)まで、県立博物館第3展示室にて開催
- ・沿海地方国立博物館の所蔵品展示や同博物館員によるワークショップのほか、「日露戦争時における鳥取県内漂着ロシア兵慰霊史」(県立公文書館調査)など展示

(2) 「ロシア平和基金」鳥取情報デスク開設式

ア 日時 平成23年9月1日(木) 14時30分～15時

イ 場所 鳥取県立図書館

ウ 出席者 平井伸治鳥取県知事、ズブリツキ・ロシア平和基金極東支部長ほか

エ 概要等

- ・ロシア文化及びロシア語の普及に努めるロシア平和基金(ロシア連邦政府の外郭団体)より、ロシア語書籍・雑誌及び視聴覚教材の寄贈を受け、県立図書館内に「ロシア平和基金鳥取情報デスク」を開設

2 沿海地方における行事

(1) 友好交流20周年記念碑除幕式

ア 日時 平成23年9月8日(木) 午前10時～10時50分

イ 場所 「アレヤ・デュルージュブ」(「友好の道」公園) (ウラジオストク市内)

ウ 出席者 平井伸治鳥取県知事、伊藤伸彰在ウラジオストク日本国総領事

ベロプロバ・ラリーサ沿海地方ダリキン知事夫人、テキエフ・ジャンブラット
沿海地方議会副議長 ほか

※ダリキン知事は、ウラジオストクを訪問中のプーチン首相随行的のため欠席

エ 概要等

- ・熱気を帯びて友好的な雰囲気の中で、友好交流20周年記念碑の除幕式が開催された
- ・現地マスコミも10社以上来場し、報道各社の関心も高かった

(2) その他

- ・ゴルチャコフ・ビクトル沿海地方議会議長と面談（9月8日）
- ・鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンターにて、鳥取県産二十世紀梨等トップセールスを実施（9月8日）
- ・ロシア企業やテレビ局を訪問しトップセールスを実施（9月8日～9日）

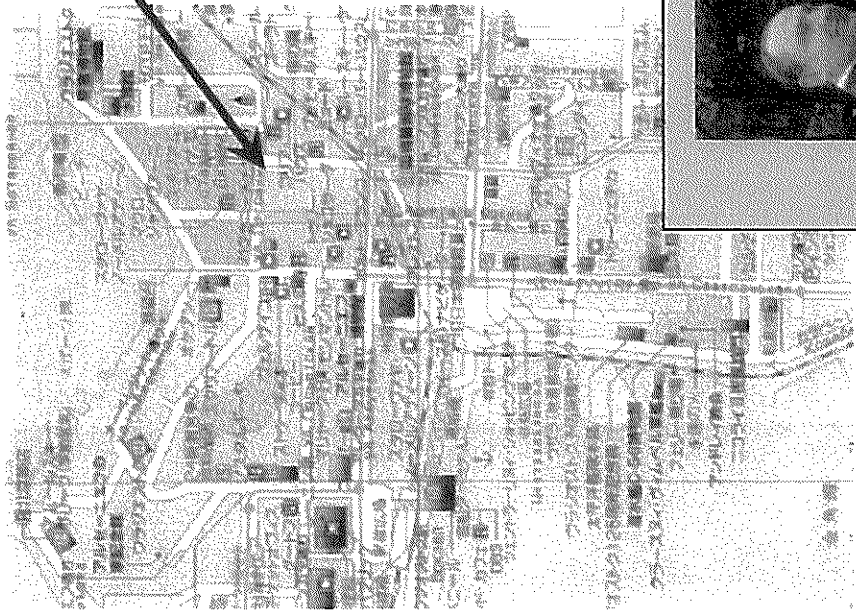
3 知事ロシア訪問日程

月 日	日 程
9月7日（水）	9:30-12:20 長春空港→仁川空港 14:50-19:00 仁川空港→ウラジオストク空港
9月8日（木）	10:00 友好交流20周年記念碑除幕式 11:30 沿海地方議会議長との面談 12:30 日系荷主企業との昼食会 14:00 鳥取県産二十世紀梨等トップセールス 15:00 ロシア鉄道訪問 16:00 ソラーズ極東訪問 19:00 在ウラジオストク日本総領事主催夕食会
9月9日（金）	9:30 PTRテレビ局訪問 10:20 黒竜江省人民代表大会常務委員会副主任との面談 11:15 第5回太平洋経済会議出席（冒頭のみ） 12:30 D I X I 社訪問 15:45-16:30 ウラジオストク空港→仁川空港 19:10-20:50 仁川空港→関西空港

鳥取県と沿海地方の友好交流20周年記念碑設置状況

2011/9/8現在

アレヤ・デュルージュブ(友好の道)



日本国鳥取県とロシア連邦沿海地方との友好交流20周年記念碑

1991年10月24日、日本国鳥取県とロシア沿海地方は「友好交流に関する覚書」に調印し、友好、信頼及び相互尊重の原則を基礎とする二地域間における友好関係を築きました。

2010年5月5日、「日本国鳥取県とロシア連邦沿海地方行政府との友好交流及び協力に関する協定」が調印されたことは、両地域間の幅広い分野における交流を発展させる上で、未来に向けた力強い第一歩になりました。

「日本国鳥取県とロシア連邦沿海地方との友好交流20周年記念碑」を建立することにより、両地域間における友好関係構築に向けて尽力された先人の皆様方へ敬意を表するとともに、両地域間の関係が、未来に渡って両地域住民のために発展していくことを確信します。

2011年9月

沿海地方知事

鳥取県知事

ダリキン セルゲイ ミハイロヴィッチ

平井 伸治

バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて

平成23年9月16日
鳥取力創造課
交流推進課

1 経緯

バードスタジアム国際交流基金管理運営委員会（平成23年7月13日開催）で、鳥取市から以下のとおりバードスタジアム国際交流基金を取崩したい旨の提案があった。

2 取崩しの考え方(鳥取市、(財)鳥取市公園・スポーツ施設協会)

とりぎんバードスタジアムは、県高校総体や少年サッカー大会、県サッカー選手権決勝大会の会場として使用される等県のサッカー振興の拠点施設であり、また、ガイナレ鳥取のホームスタジアムとしてJ2の試合を行っている。

しかしながら、平成7年の建設から16年経過し老朽化が進んでいることから、県内のサッカー振興およびガイナレ鳥取のさらなる飛躍のため、ピッチの芝生全面張り替えを行うための財源として、バードスタジアム国際交流基金を充当したい。

3 県の考え方

平成23年度事業のピッチ芝生張替工事 約212百万円に対応する基金の取崩し（約87百万円）に同意する方向で検討する。

※基金の取崩しには、知事の同意が必要

【平成24年度以降のとりぎんバードスタジアム整備予定内容】

(鳥取市説明による)

①夜間照明施設器具等取替 (H24実施)

※平成23年度に一部予算を計上しているが12月補正で減額予定

②オーロラビジョン設置 (H24実施)

※上記の2事業の財源として、バードスタジアム国際交流基金を充当する予定

③観客席屋根設置 【今後検討】

4 基金の概要

(1) 造成年月日 平成7年11月14日

(2) 造成額 400,000,000円 (現在の基金残高 297,000,000円)

(内訳) 鳥取県 200,000,000円

鳥取市 200,000,000円

※ワールドカップ2002の「エクアドル」チームの鳥取キャンプ受け入れのため、H14年度に63,000,000円の基金取崩しを行っている。

※ガイナレ鳥取のJ2昇格に必要な財務基盤強化に向け、県と市が当該基金を財源として出資するため、平成22年度にそれぞれ20,000,000円の基金取崩しを行っている(平成22年11月補正)。

(3) 基金管理主体 財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会

(4) 管理運営委員会 交流推進課長が委員に就任

山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催について

平成23年9月16日
観光政策課

平成24年10月～12月に実施される「山陰デスティネーションキャンペーン」を全国の旅行会社やマスコミにPRする「全国宣伝販売促進会議」が以下のとおり開催されます。

1 目的

平成24年10月～12月に山陰（鳥取県・島根県）を舞台にした誘客キャンペーンである「山陰デスティネーションキャンペーン」が実施されます。

その1年前のPRとして、全国の旅行会社やマスコミ関係者を招待し、両県の観光素材を情報発信することにより、今後の旅行商品造成につなげていただくことを目的として「全国宣伝販売促進会議」を開催します。

2 主催

山陰デスティネーションキャンペーン協議会

（構成：鳥取県、島根県、西日本旅客鉄道株式会社、両県観光連盟など）

3 日程

平成23年10月12日（水）～14日（金）

〔全国宣伝販売促進会議〕 10月12日（水）午後3時～午後4時30分

〔歓迎レセプション〕 10月12日（水）午後6時～午後7時30分

〔エクスカーショーン〕 10月13日（木）～14日（金）

4 会場

全国宣伝販売促進会議：米子コンベンションセンター「多目的ホール」

歓迎レセプション：皆生グランドホテル天水

エクスカーショーン：鳥取県、島根県の各観光スポット

5 招待者

全国の旅行会社・マスコミ・JRグループ各社など、約300名

6 内容

（1）全国宣伝販売促進会議

- ・両県の観光プレゼンテーションの実施（約20分間ずつ）
（温泉旅館等の地元観光関係者や各地域の観光大使を予定）
- ・各市町村等による観光PRブースの設置

（2）歓迎レセプション

- ・郷土芸能の披露（「米子がいな太鼓」及び「安来節どじょう掬い」）
- ・地元グルメの提供（牛骨ラーメン、とうふちくわ、出雲そば、地酒など）
- ・その他、地元産食材を使った料理の提供

（3）エクスカーショーン

- ・両県の観光地を視察していただくため、7コース設定。
（鳥取県のみ2コース、島根県のみ2コース、両県をまたがるもの2コース、日帰り1コース）
- ・本県の訪問先としては、山陰海岸ジオパーク、若桜鉄道、三徳山、白壁土蔵群、大山寺、水木しげるロード、岩井温泉、三朝温泉などを設定。

7 その他（デスティネーションキャンペーンについて）

「デスティネーションキャンペーン」は、JRグループ（北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州）が地元観光関係者や地方自治体等と連携して行っている広域的な観光誘客キャンペーンです。昭和53年に和歌山県で第1回目を開催して以降、毎年、四半期ごとに実施しています。山陰両県では、昭和61年、平成9年、平成15年、平成18年に続いて、5回目の開催となります。

今回の山陰デスティネーションキャンペーンでは、「ほっと一息あなたの旅 山陰から」をテーマに、「古事記1300年」「まんが王国とっとり」「ジオパーク」を中心にPRすることとしています。

平成23年台風12号被害に対する予備費の充当について

平成23年9月16日
観 光 政 策 課

台風12号により著しく被害を受けた文化観光施設等について、原状回復を行う経費について支援するため、予備費を充当しました。

記

【支援対象】

民間の主要な文化観光施設の復旧に要する経費で、他に国又は県の助成制度がないもの(市町村が特に重要な文化観光施設と位置づけ復旧支援を行うものに限る)

【支援概要】

施設の復旧を行う者に対し、被災文化観光施設の所在市町村が負担する額と同額以内(市町村予算措置額の1/2以内)または全体事業費の1/3以内のいずれか低い額を助成(市町村経由の間接補助金として交付)

【予備費充当額】 1,000千円

山陰海岸ジオパーク110kmウォークの開催について

平成23年9月16日

観光政策課

1 概要

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟（H22/10/4）一周年を記念し、山陰海岸ジオパークの豊かな自然、風土を体感できるウォーキングイベントを、山陰海岸ジオパークの東端である京丹後市の経ヶ岬から西端の鳥取市の白兔海岸までの全区間を通して開催します。

2 主催

山陰海岸ジオパーク 110km ウォーク実行委員会

構成：京都府、兵庫県、鳥取県、山陰海岸ジオパーク推進協議会

事務局：山陰海岸ジオパーク推進協議会

3 日程・コース

日時	コース(歩行距離)	主要ジオサイト	募集定員	宿泊地	参加費
10月4日(火)	経ヶ岬～琴引浜 (26km)	経ヶ岬、袖志棚田 屏風岩、立岩	50人	琴引浜	1,000円
10月5日(水)	琴引浜～城崎温泉 (28km)	コウノトリの郷公園 玄武洞、城崎温泉	50人	城崎	1,000円
10月6日(木)	竹野駅～今子浦 (24km)	猫崎半島、はさかり岩 香美町海の文化館	50人	今子浦	1,000円
10月7日(金)	今子浦～諸寄 (21km)	浜坂海岸、新温泉町山 陰海岸ジオパーク館、 城山園地	50人	浜坂	1,000円
10月8日(土)	居組～白兔 (37km) その他5,10,24kmコースもあり	浦富海岸、鳥取砂丘、 白兔海岸	650人 (4コース計)	—	1,000円 (小中学生 無料)

※ 5日間の総歩行距離は136km、延べ約850人参加

※ 各コースごとの参加も可能

※ 主要ジオサイトではガイドによる説明等を実施

※ 経ヶ岬～諸寄間の一部区間では公共交通（路線バス、KTR、JR）を使用

※ 参加費以外に、交通費、弁当代等が必要。

4 申込方法等

(1) 申込

申込書は山陰海岸ジオパークホームページ (<http://sanin-geo.jp/>) からダウンロードできるほか、山陰海岸ジオパーク拠点施設（山陰海岸学習館、岩美町立渚交流館、鳥取砂丘ジオパークセンター等）でチラシを配布。

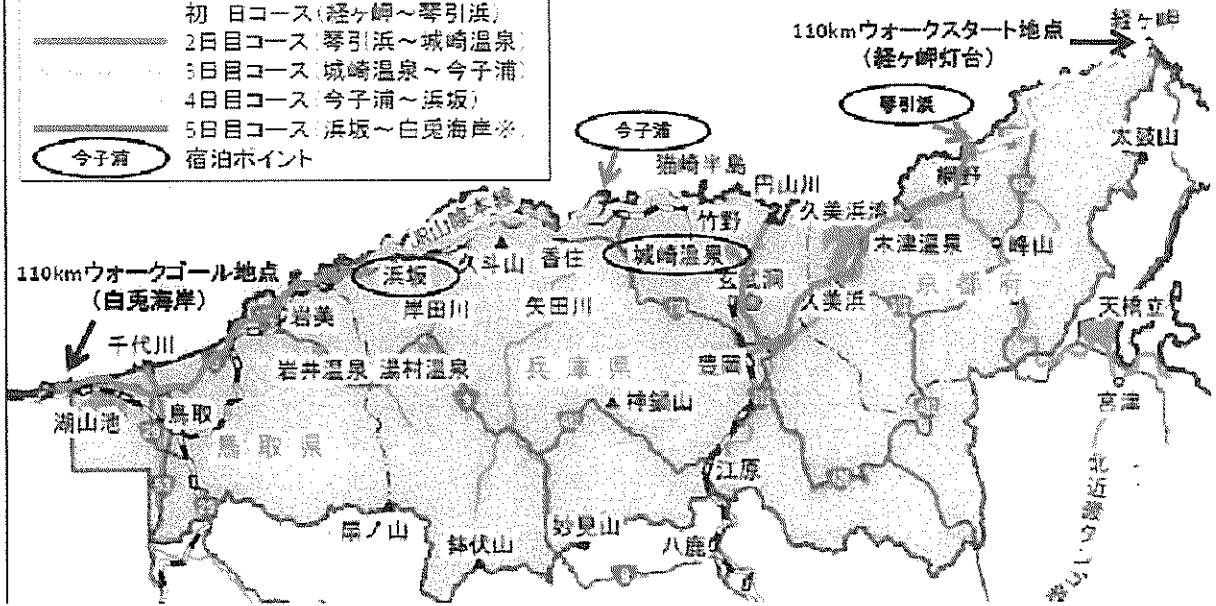
(2) 申込先および締切り

月日	申込先	締切
10月4～7日	JTB 神戸支店法人営業部 (電話) 078-366-6170	9月21日(水)
10月8日	日本海新聞新聞メディア企画部 (電話) 0857-21-2526	9月28日(水)

コース案内図

【記入例】

- 初日コース(経ヶ岬～琴引浜)
- 2日目コース(琴引浜～城崎温泉)
- 3日目コース(城崎温泉～今子浦)
- 4日目コース(今子浦～浜坂)
- 5日目コース(浜坂～白兔海岸※)
- 今子浦
- 宿泊ポイント



【10月8日(土)居組～白兔間コース詳細図】

当日スケジュール	
7:30～	24・37kmコース受付(居組)
8:00	37kmスタート
8:30	24kmスタート
8:45～	5・10kmコース受付(居組)
9:30	開会式
10:00	5・10kmスタート
11:00～	5kmゴール(陸上) ※5kmコース参加者にはゴール後陸上～浦富間にシャトルバスを運行します
12:00～	10kmゴール(浦富)
14:00～	24kmゴール(砂丘)
16:00～	37kmゴール(白兔)

白兔海岸
白兔の白兔白砂で知られる海岸。浜の奥には河原の自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

湖山池
湖山池の山頂にあり、池の周囲には、自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

鳥取砂丘
南北2.4km、東西1.6kmに広がる日本最大の砂の海。砂丘の起伏は、まるで波のうねりを見せるように美しく、自然の宝庫が数多くある。

鳥取海岸
鳥取の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

居組海岸
居組の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

鳥取海岸
鳥取の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

居組海岸
居組の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

鳥取海岸
鳥取の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。

居組海岸
居組の海岸は、自然の宝庫が数多くある。自然の森や、昔ながらの漁師の集落など、自然の宝庫が数多くある。